

# 総合的な学習(探究)の時間とは

総合的な学習(探究)の時間は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これからの時代においてますます重要な役割を果たすものである(文部科学省HPより)。

## 目次

刊行によせて  
はじめに  
この本の使い方

(付録)  
ざくいん 参考文献  
テーマ例  
ワークシート例  
(QRコード付き)

### 第1章「課題を設定する」には

- ① 探究をはじめの前に
- ② 課題を設定する
- ③ 探究計画を立てる

### 第2章「情報を収集する」には

- ① 情報収集の準備
- ② 調査方法

### 第3章「情報を整理・分析する」には

- ① 整理の方法
- ② 分析の方法
- ③ 調べたことを議論する

### 第4章「まとめ・表現する」には

- ① 課題解決の実践
- ② レポートを書く
- ③ 論文を書く
- ④ プレゼンテーション
- ⑤ 発表の評価
- ⑥ 振り返り

### 第5章 実践事例

- ① 地域探究
- ② グローバル探究
- ③ SDGs健康医療探究
- ④ 防災探究
- ⑤ 自然科学探究

**この本の使い方**

本書は総合的な学習(探究)の授業の場面に活用し、生徒の主体的な学びを促すための教材です。また、探究の進め方、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の各段階について、具体的な実践方法やワークシート例を掲載しています。また、探究の進め方、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の各段階について、具体的な実践方法やワークシート例を掲載しています。

**01 探究の進め方**

探究の進め方とは、課題を設定し、情報を収集し、整理・分析し、まとめ・表現するまでの一連の流れを指します。本書では、この一連の流れを具体的に示すとともに、各段階で必要なスキルや態度を育成するための実践方法を紹介します。

**1 課題の設定**

探究のきっかけとなる課題を設定します。課題を設定する際には、生徒の興味・関心や生活の中での疑問点などを参考にし、探究の価値があるような課題を設定することが重要です。

**2 情報の収集**

設定した課題について、様々な情報や資料を収集します。情報の収集には、インターネットや図書館、インタビューなど様々な方法があります。

**3 情報の整理・分析**

収集した情報を整理し、分析します。整理・分析の過程で、課題の本質や課題解決のためのヒントを見つけ出すことが重要です。

**4 まとめ・表現**

探究の結果をまとめ、表現します。まとめ・表現には、レポートや論文、プレゼンテーションなど様々な方法があります。

**5 振り返り**

探究の過程を振り返り、学びを定着させます。振り返りを行うことで、探究の過程で身につけたスキルや態度を確認し、今後の学習に活かすことができます。

## 内容見本 (変更になる場合があります)



**12 図書館の使い方**

図書館は、学習の場としてだけでなく、地域の文化や歴史を知る場としても活用できます。本書では、図書館の使い方や蔵書の検索方法、新聞記事の利用方法について詳しく解説しています。

**蔵書の検索方法**

図書館の蔵書を検索する方法について詳しく解説しています。検索エンジンやデータベースなど、様々な検索方法を紹介しています。

**新聞記事の利用方法**

新聞記事を学習の材料として活用する方法について詳しく解説しています。記事の読み方や、記事から学ぶポイントなどを紹介しています。

**38 発表のしかた**

発表のしかたは、学習の成果を伝える重要な手段です。本書では、発表の準備や発表の仕方について詳しく解説しています。

**発表の準備**

発表の準備には、発表の目的や対象者を明確にし、発表の構成や内容を整理することが重要です。

**発表の仕方**

発表の仕方には、声の大きさや話し方、身振り手振りなど様々な要素があります。本書では、効果的な発表の仕方について詳しく解説しています。



**16 体験活動をする**

体験活動は、学習の成果を定着させるための有効な手段です。本書では、体験活動の意義や実施方法について詳しく解説しています。

**体験活動の意義**

体験活動は、知識や技能を身につけるだけでなく、コミュニケーション能力や問題解決能力を育成する効果があります。

**体験活動の実施方法**

体験活動を実施するには、事前の準備や実施中の安全管理など、様々な注意点が 있습니다。本書では、効果的な体験活動の実施方法について詳しく解説しています。